出雲崎中学校だより

≪第２号≫
出雲崎町立出雲崎中学校
TEL 0258-78-2137
FAX 0258-78-2164
令和5年7月24日発行

「ふるさと出雲崎を愛し、未来の生き方を創造する」～総合学習～

出雲崎中学校では、「ふるさと出雲崎を愛し、未来の生き方を創造する～郷土学習と生き方学習～」というテーマを掲げ、総合的な学習の時間の授業に取り組んでいます。今年度も学年ごとに課題を設定し、“地域と関わり、地域から学ぶ”活動を取り入れながら、総合的な学習の時間の授業に取り組んでいきます。地域のよさを発見し、地域で働く方々の姿から学ぶことによって、一人一人が自分の将来やふるさとの未来を思い描くことができればと考えています。

環境学習（1学年）

1年生は現在、「郷土の環境（自然・歴史・文化）を知る～郷土のよさを発見しよう～」という探究課題に取り組んでいます。自然環境を生かし、社会生活を豊かなものにするために、出雲崎町の人々がどのような努力をしているかを学び、再発見した地域のよさをまとめていきます。

5月9日（火）には、出雲崎町の地域おこし協力隊として活躍されている＿＿＿＿＿様にご来校いただき、出雲崎の農業の現状と課題について学習するとともに、枝豆の栽培について学び、実際に枝豆の苗を植える作業を行いました。海・山・農地が揃っており、美しい自然に恵まれている出雲崎ですが、農業の現状を見ると、全国的な傾向に違わず高齢化や農家数・従事者数の減少が深刻であることをわかりやすく説明していただきました。また、それらの課題を克服するために、「出雲崎シェアふるさとproject」を立ち上げ、「耕すbase」という活動を展開していること等を紹介していただきました。枝豆の栽培方法や上手に植えるコツを教えていただいた後、内山施設管理員が時間をかけて丁寧に土作りをした花壇に、皆で協力して畝を作ったりマルチをかけたりしました。毎日の当番を決め、皆で協力して水やりを行い、大切に育ててきたおかげで、7月18日（火）に大きく育った枝豆を収穫することができました。

また、1年生は、町役場町民課からお声掛けをいただき、「にいがた緑の陣」の取組に参加しています。5月30日（火）には、新潟県地球温暖化防止活動推進センターの＿＿＿＿＿様、＿＿＿＿様にご来校いただき、地球温暖化の現状や温暖化防止のために大切なことなどを学習しました。地球温暖化の問題は、決して他人事ではなく、私たち一人一人が未来への危機感をもつことが大切であり、具体的にはカーボンゼロに向けた「グリーンカーテン」の取組等が進められているといったことを学びました。その後、実際にゴーヤの苗を植え、出雲崎中学校の「にいがた緑の陣」の取組が始まりました。1年生教室の窓を緑のカーテンが覆い始めており、7月7日（金）に第1号、7月24日（月）現在で9本のゴーヤを収獲することができました。このゴーヤは、「夏野菜チップス」として、給食の食材としても提供されました。カリッと揚がっていて、全校生徒で大変美味しくいただきました。さらに、7月14日（金）には「月刊にいがた」の方が取材に来てくださり、1年生は、突然現れた吉本新潟住みます芸人の「大谷ってヤツですよ！」さんと記念撮影をするなど、楽しい一時を過ごすことができました。この模様は、8月号に掲載される予定です。

1年生は、7月4日（火）にも新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部の__K____様、「海まちLINK」代表の__S____様からご来校いただき、主に海岸の環境問題について学習しました。K__様からは、多くの人に親しまれている海岸には、海洋プラスチックゴミをはじめ、大量の漂着物が流れ着いており、地球規模での環境汚染が懸念されていること。また、漂着物は決して外国からのものだけではなく、生活ゴミ等も含まれており、一人一人が自覚をもって行動することの大切さを学びました。S様からは、実際に取り組まれているビーチクリーンの活動について、皆が「出雲崎に生まれて良かった」「出雲崎に住んで良かった」と思えるように活動しているというお話を伺うとともに、シーグラスの取組等も紹介していただきました。お二人のお話を受け、1年生は7月11日（火）に、井鼻海岸で海岸清掃活動を行いました。S様からも参加していただき、様々なアドバイスをいただきながら活動しました。町内の身近な場所ではありますが、普段なかなか目に留めることのない現状を確かめることができ、ふるさと出雲崎の自然や環境保全の問題について、改めて考える良い機会になりました。

職業学習（2学年）

2年生は現在、「郷土の人から学ぶ～地域で働く人々の姿から学ぼう～」という探究課題に取り組んでいます。地域で働く人々の姿から、職業生活、社会生活に必要な知識、技術、技能の習得への理解を深めようということで、今年度に入り、世の中にはどんな職業があり、働くということはどんな意義があるのかといったことについて、未来の自分の姿を思い浮かべながら、調べたり、考えたりしています。5月16日（火）には、出雲崎役場総務課の_____様にご来校いただき、私たちの日常生活に最も身近な町役場の仕事について講義していただきました。___様からはたくさんの資料を用意していただき、町民一人一人の暮らしを豊かなものにするために役場には多くの部署があり、それぞれが責任をもって町民のニーズに応えている。さらに関連の様々な事業所も町民のために仕事をしているということを丁寧にお話していただきました。2年生は、今年度も夏休みに職場体験をさせていただきますが、今回は町役場のいくつかの課でも体験活動をさせていただきます。

また、6月28日（火）には、ハローワークのご支援により、キャリアコンサルタント・産業カウンセラーの白井一美様にご来校いただき、社会的マナーや所作などを学んだり、アプリを使って職業調べを行ったりしました。職場体験に生かせる内容が盛り沢山で、大変勉強になりました。

出雲崎の未来、自分の将来を考える（3学年）

3年生は現在、「郷土の未来を考える～地域の一員として将来を考えよう～」という課題に取り組んでいます。5月30日（火）、出雲崎町役場総務課地域政策室の__N____様と__K__様にご来校いただき、「出雲崎町の現状と課題」について、様々なお話を聞かせていただきました。N__様からは、出雲崎町の財政状況について教えていただきました。地方財政のしくみや、出雲崎町の歳入・歳出の内訳等、中学生には難しい内容を、グラフや資料を用いて分かりやすく丁寧に説明してくださいました。町民のより良い暮らしや町の発展のために、出雲崎町がどのようにお金をやりくりしているのかがよく分かりました。また、K__様からは、出雲崎町の人口の推移や子育て支援についての現状、町が抱える課題等について説明していただきました。人口減少、少子高齢化が進んでいる現状、それに伴って地域の担い手不足、空き家の増加等、深刻な問題が生じていることなどを、様々な統計から確認することができました。お二人のお話を受けて、現在、3年生は出雲崎町の現状と課題を整理し、「出雲崎町のよりよい未来」を提案するために、新聞やインターネット等の資料を活用ながら調査活動に取り組んでいます。様々な情報・手段を駆使し、自分や町の将来について真剣に考えています。班ごとに提案をまとめ、10月には具体的な提案を発表する予定です。